

(1) 桑名町大字桑名地先新舊國道交叉個所。

## 桑名と金谷の國道改良工事

内務省名古屋土木出張所長 辰馬謙藏

### 桑名國 改良工事概要

【概説】 現在一號國道西桑名町區域は揖斐川右岸堤防兼用道路にして路幅 5.5 米を有し桑名町、益生村區域は路幅 4.5 米乃至 5.5 米を有する砂利道にして人家連帶の市街地にして屈曲多く近時交通量の増加に伴ひ車馬の交通困難なる状態なり。

本工事は揖斐、長良川橋梁取付道路西桑名町大字福島に起し、縣道津、岐阜線を利用擴張し、略直線を以て南方に縦走し、桑名町大字矢田地先にて現在國道を横斷し益生村大字大福地先八重垣神社に至る延長 2,360 米幅員 12 米を有し、西桑名町、桑名町地内は歩車道

の區別を有し、車道は簡易鋪裝を施せり。

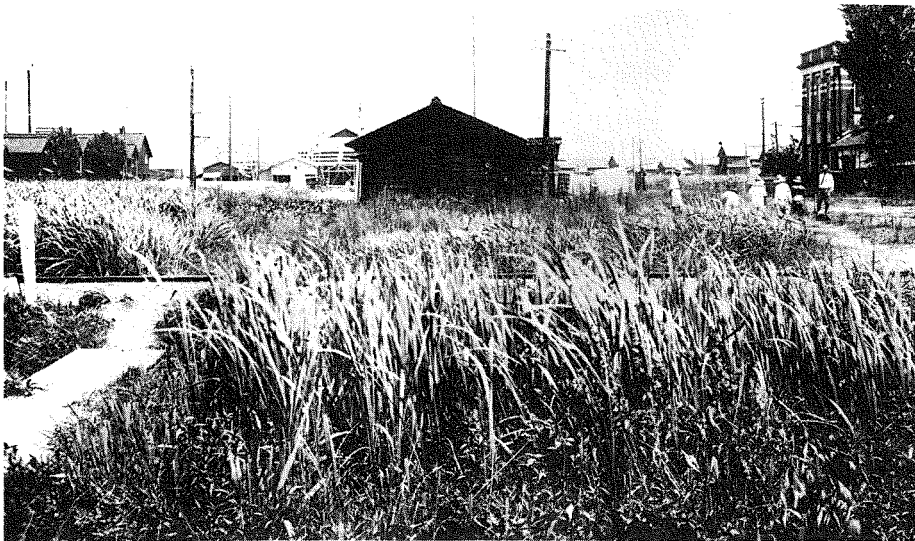
本工事は失業救済の目的を達成せんため一市二郡十八ヶ町村の失業者を登録し三重縣社會事業協會西桑名勞働紹介所を経て之を使役す、其の總延人員 65,320 人なり。

### 【工事概説】

車道鋪裝	セメント混凝土
歩道鋪裝(一部)	混凝土塊
土工	29,432 立米
工事着手	昭和 6 年 5 月 1 日
工事竣功	昭和 7 年 3 月 31 日
使役人員	74,735 人
工事費豫算	352,000 圓
内 譯	



(2) 桑名國道北勢鐵道踏切箇所附近新國道。



(3) 同上、工事着手以前の景。

用地費	162,967.670	セメント	33,200袋
本工事費	135,977.926	砂	6,350立米
機械費	21,696.134	砂	3,014立米
雜費其他	31,358.270	碎石	800立米
主要材料數量		鐵筋	45,051斤



(1) 金谷國道菊川橋 (鐵筋混凝土拱)

(2) 金谷國道小夜中山隧道西口新國道。

### 金谷國道改良工事概要

【位置】 一號國道。靜岡縣榛原郡金谷町菊川より同縣小笠郡日坂村日坂に至る區域。

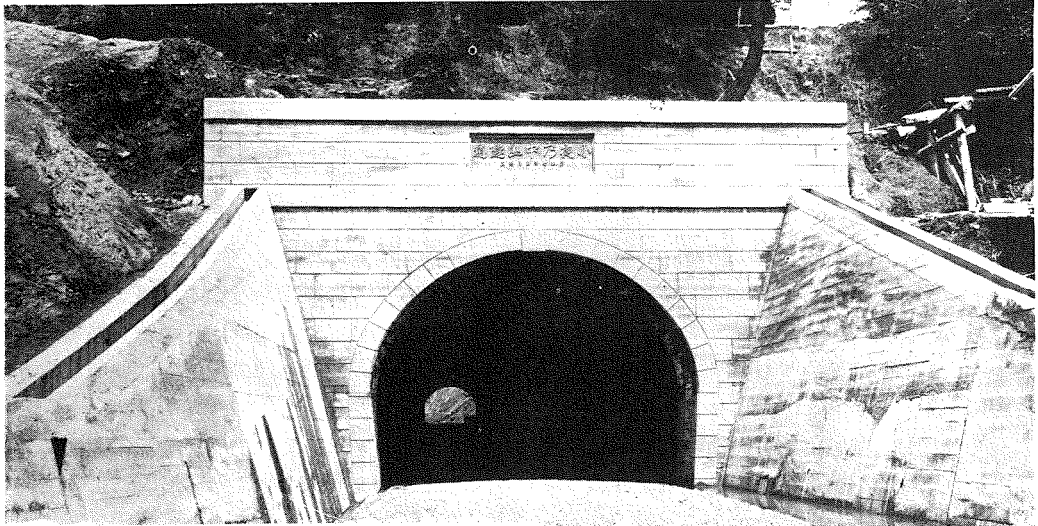
【延長】 4,118.25 米、内、橋梁 2 (延長 27.18 米 隧道 1 (延長 150 米 道路延長 3,941.07 米

【總工費】 286,000 圓。

【使役勞働者數】 182,000 人。

【工事概説】 幅員は全幅員 7 米、有効幅員





6 米で車歩道の區別がない。路面は郊外地だから全線砂利道である。

橋梁は有効幅員 6.4 米、橋體は拱橋、桁橋の二種で何れも鉄筋混凝土造である。橋面は鉄筋混凝土及混和土舗装とした。

隧道は全延長 150 米で、混凝土捲立とし、有効幅員 6.0 米、高 4.54 米、中央部に於ては拱側壁共 30 纏捲、兩坑口は 45 纏捲である。舗装は基礎土厚 9 纏、表面グラノリーシツク混凝土とした。

(3) 金谷國道小夜中山隧道 (舊國道七曲箇所)

(4) 舊金谷國道七曲り箇所。

